令和7年1月31日

校・園長氏名 諸田 哲

1 自己評価の結果と分析(A…目標を十分に達成、B…概ね達成、C…達成に至らなかった)

① 教育課程·学習指導

| 中期的目標 | 児童の知識・技能、思考力・判断力・表現力等を育成する。 | 評価 |
|-------|---------------------------------------|----|
| 取組目標 | 的確な説明、板書、発問により、分かりやすい授業を実施する。(教員)…95% | В |
| 達成目標 | 児童アンケートの「授業が分かる」の肯定的評価が 90%以上…児 97% | A |

| 中期的目標 | 児童の学びに向かう力、人間性等を育成する。 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標 | 課題設定、資料提示、学習形態の工夫、ICT機器・一人一台端末等の活用により、関心・意欲を高める授業を実施する。(教員) …100% | A |
| 達成目標 | 児童アンケートの「授業が楽しい」の肯定的評価が 90%以上…児 91% | A |

② キャリア教育 (進路指導)

| 中期的目標 | 児童の勤労観・職業観を形成する。 | 評価 |
|-------|--|----|
| 取組目標 | ようこそ先輩交流会や技科で、将来の職業や仕事について考えさせる時間を設定し、 授業の振り返りでその考えを見取る。(教員)…100% | A |
| 達成目標 | 児童アンケートの「将来の夢について考えた」の肯定的評価が 90%以上…児 89% | В |

③ 生徒指導(いじめ防止の取組)

| 中期的目標 | 児童の豊かな人間関係をつくる。 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標 | 学級経営・専科経営の充実図り、居心地のよい学級・学校をつくる。WEBQUの結果等を学級経営・専科経営を充実させるために活用し、さらに学校いじめ防止対策委員会で考察し、担任にフィードバックする。(教員) …100% | A |
| 達成目標 | 児童・保護者アンケート「学校へ行くのが楽しみ」「なかよしの友達がいる」の肯定 的評価が 85%以上、保護者アンケートの「わからない」を 10%以下。 …児(楽しみ)86%(友達)97%、保 93%、わからない 0% 各学級の 2 回目の WEBQU 調査で要支援群の児童を減らす。 …【全 16 学級中】減 1、変化なし(要支援群がもともと 0)8、変化なし 2、増 5 | A |

| 中期的目標 | 児童の心の悩みに寄り添い、解消に向けて働きかける。 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標 | 全体指導と個別支援を組織的にバランスよく行う。相談した児童の担任とカウンセラーが連携し、児童への配慮や支援を行う。(教員) …100% | A |
| 達成目標 | 児童・保護者アンケート「先生は相談にのってくれる」の肯定的評価が 85%以上、保護者アンケートの「わからない」を 10%以下。…児 96%、保 85%、わからない 10% | A |

| 中期的目標 | 児童に他を思いやる心を育成する。 | 評価 |
|-------|--|----|
| 取組目標 | 朝の会や帰りの会で「心をつなぐ合言葉」を意識付け、言語環境から思いやりの心の 大切さを指導する。児童の主体性を引き出す「あいさつ運動」の取組を充実させる。 (教員) …100% | A |
| 達成目標 | 児童・保護者アンケート「あいさつができている」の肯定的評価が 85%以上、保護者 アンケートの「わからない」を 10%以下。…児 88%、保 94%、わからない 4% | A |

④ 保健管理

| 中期的目標 | 健康観察、保健指導による児童の病気・けがの予防 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標 | 発熱等の児童を早期に発見し、保護者に連絡の上、引き渡しなど速やかに行う。 (教員)…100% | A |
| 達成目標 | 定期健康診断結果のお知らせを受けて、専門医の治療・相談を受診した児童 100%を 目指す。…100% | A |

⑤ 安全管理

| 中期的目標 | 学校事故等の緊急事態発生時に適切な対応をする。 | 評価 |
|-------|--|----|
| 取組目標 | 学校事故等の緊急事態発生時には、保護者、関連機関、教育委員会へ必ず連絡し、傷病者の受診等、迅速に対応する。(教員) …95% | В |
| 達成目標 | 事故発生時の保護者連絡を 100%実施…95% | В |

⑥ 特別支援教育

| 中期的目標 | 組織的な特別支援教育を推進する。 | 評価 |
|-------|--|----|
| 取組目標 | 特別支援教育コーディネーター、巡回・通級指導教員、特別支援教室専門員と学級担任が、週1回、情報共有を図って指導に当たる。(教員) …100% | A |
| 達成目標 | 個に応じた指導を通して、2回目の WEBQU 調査で巡回・通級対象児童の学級での困り感を 80%以上減らす。…62% | В |

⑦ 組織運営(学校における働き方改革)

| 中期的目標 | 組織的・効率的な学校運営を推進する。 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標 | 主任教諭層の組織分掌への意識を高め、主体的な運営ができるようにする。管理職・主幹教諭層による校務分掌等の進行管理を円滑にする。一人一台端末を活用し、学習準備等の効率化を図る。(教員) …100% 長期休業日の中で学校閉庁日を設定し年次休暇が取得しやすい環境を整備する。月1回ノー残業デーを設定して実施する。(管理職) …100% | A |
| 達成目標 | 法令上の年次休暇の取得下限日数の達成 100%…100% | A |

⑧ 研修(資質向上の取組)

| 中期的目標 | 校内研究を通して、授業改善に取り組む。 | 評価 | |
|-------|--|----|--|
| 取組目標 | 児童実態等に沿った校内研究等を充実させ、研究授業を実施し、授業改善に取り組む。 教員の外部アドバイザーの訪問指導を推進する。(管理職・教員)…100% | A | |
| 達成目標 | 児童・保護者アンケート「校内研究」の肯定的評価が 85%以上、保護者アンケートの「わからない」を 10%以下。…児 84%、保 71%、わからない…25% | В | |

⑨ 教育目標·学校評価

| 中期的目標 | 児童・保護者・地域の意見等を把握して、教育活動の改善に生かす。 | 評価 | |
|-------|--|----|--|
| 取組目標 | 学校行事・学校評価等のアンケートで児童・保護者・地域の意見等を把握する。アンケートの電子化を図り効率化を進める。(管理職・担当教員) …100% | A | |
| 達成目標 | 保護者アンケート「学校評価」の肯定的評価が 85%以上、「わからない」を 10%以下。 …保 81%、わからない 14% | В | |

⑩ 情報提供

| 中期的目標 | 学校の教育活動に関する様々な情報を積極的に提供する。 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標① | 学校だより、学校ホームページにより、月に1度以上、学校の教育活動、教育環境、 組織・研修について保護者・地域に発信する。(管理職・担当教員) …100% | A |
| 取組目標② | 学校行事(運動会・展覧会等)、学校公開日にて、教育活動を保護者・地域に公開する。家庭への連絡、おたより配布等の電子化を推進する。(管理職・教員) …100% | A |
| 達成目標 | 保護者アンケート「情報提供」の肯定的評価が 85%以上、「わからない」を 10%以下。 …保 96%、わからない 0% | A |

⑪ 保護者、地域との連携 (コミュニティ・スクール西ケ原としての取組)

| 中期的目標 | コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会の協議をもとに、保護者・地域の協力を得た教育活動を実施する。 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標① | 学校運営協議会を年4回開催し、本校の教育活動や児童の状況について、保護者・地域の意見をいただく。(管理職) …100% | A |
| 取組目標② | ようこそ先輩交流会、技科の授業により、全学年で、地域の方を中心としたゲストティーチャーから学ぶ授業を実施する。(管理職・教員) …100% | A |
| 達成目標 | 児童・保護者アンケート「コミュニティ・スクール」の肯定的評価が 85%以上、保護者アンケートの「わからない」を 10%以下。…児 95%、保 91%、わからない 8% | A |

⑩ 教育環境整備

| 中期的目標 | 区と連携し、施設・設備、教材・教具・図書の整備を進める。 | 評価 |
|-------|---|----|
| 取組目標 | 施設等の修繕は、その都度区に依頼するとともに、教材等は 4 月中に予算案を確定し、1 学期中に執行して活用する。(管理職・事務) …100% | A |
| 達成目標 | 児童・保護者アンケート「教育環境整備」の肯定的評価が 85%以上、保護者アンケートの「わからない」を 10%以下。…児 94%、保 67%、わからない 22% | В |

2 次年度以降の課題と対応策

(1)

課題重点目標の「教育課程・学習指導」「生徒指導」の取組がうまくいった。特に、学級経営の充実が数値からも確認できる。今後も全体指導と個別支援をバランスよく行うことの継続が課題である。

対応策学年組織を母体とした学級経営の充実、校内研究を中心とした組織的な授業改善を継続する。個別支援の方策について巡回指導・SC等との連携の場を引き続き設定する。

(2)

課題大幅に増加した児童数に対応したコミュニティ・スクールの取組の再構築が今年度進んだ。10月から始まった約1年に渡る校舎増築工事に伴う学校施設使用制限の中での教育活動の充実が今後の課題である。

対応策次年度1年間は、使用できる施設の規模、外部施設の活用等を念頭にして、コミュニティ・スクールの本質を大事にしながら、1年間の特別な教育活動の実践方法を模索していく。